

多摩川精機株式会社 / 多摩川精機販売株式会社

[6月12日に H3ロケット6号機で打ち上げ]

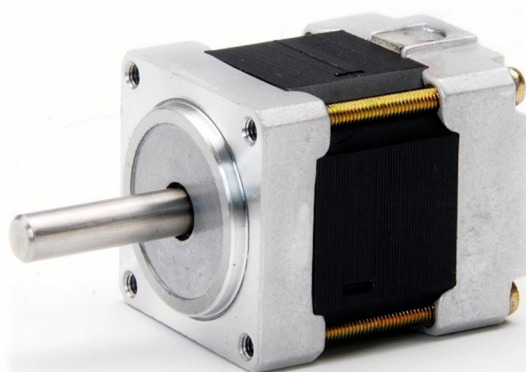
株式会社BULLのスペースデブリ低減に向けた実証用装置「HORN」に 多摩川精機のモータが搭載

株式会社BULL(本社:栃木県宇都宮市、代表取締役社長:宇梶 恭士)の実証衛星「HORN-L」、「HORN-R」の2機が、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)のH3ロケット6号機により6月12日に打ち上げられました。

株式会社BULLの「HORN(Hurtling Orbit Normalizer)」は、軌道上で役割を終えたロケットや人工衛星を迅速且つ自律的に軌道離脱させるPMD(Post-Mission Disposal)装置です。宇宙空間で大型の膜を広げ、軌道上の大気による空気抵抗を増大させることで、人工衛星などの速度を落とすとともにその高度を下げ、大気圏へ突入させることで、スペースデブリ(宇宙ゴミ)化を防ぎます。

今回打ち上げた「HORN-L」、「HORN-R」には、それぞれサイズが異なる膜によるデブリ防止装置が搭載されており、展開動作や軌道降下性能に必要な要素技術を実証し、計画通りに自己伸展による膜展開が確認されました。

本展開における冗長性を向上させる手段の一つとして、多摩川精機株式会社(本社:長野県飯田市、代表取締役社長:松尾忠則)のステップモータが搭載されています。



搭載されたステップモータと同等品
□28×L35mm



PMD装置「HORN」の展開イメージ(製品版として搭載した場合)



実証衛星「HORN-L」、「HORN-R」

多摩川精機株式会社 / 多摩川精機販売株式会社

当社の宇宙用製品は40年以上にわたる技術の蓄積により、多くのお客様から信頼をいただき、さまざまな宇宙機器に採用されています。

今回の実証衛星は、宇宙利用の拡大に伴い増加を続けるスペースデブリの問題解決のため、人工衛星などのスペースデブリ化の抑制を目的としています。こうした持続可能な宇宙利用の実現を目指す取り組みに、当社のステップモータも微力ながら貢献しています。

■多摩川精機株式会社 会社概要

会 社 名 : 多摩川精機株式会社 (TAMAGAWA SEIKI CO., LTD.)
代 表 : 代表取締役社長 松尾 忠則
本 社 : 〒395-8515 長野県飯田市大休1879番地
創 立 : 1938年(昭和13年)3月3日
U R L : <https://www.tamagawa-seiki.co.jp>

■本リリースに関するお問い合わせ

広報宣伝部
担当: 満沢、平林 TEL: (0265)21-1816